

静岡県評第77 回定期大会に寄せられたメッセージ(団体名)

◆ 全労連加盟地方組織

愛知県労働組合総連合
岐阜県労働組合総連合
福井県労働組合総連合
青森県労働組合総連合
秋田県労働組合総連合
岩手県労働組合連合会
宮城県労働組合総連合
福島県労働組合総連合
茨城県労働組合総連合
埼玉県労働組合連合会
千葉県労働組合連合会
山梨県労働組合総連合

新潟県労働組合総連合
長野県労働組合連合会
滋賀県労働組合総連合
京都地方労働組合総評議会
奈良県労働組合連合会
全大阪労働組合総連合
兵庫県労働組合総連合
広島県労働組合総連合
徳島県労働組合総連合
福岡県労働組合総連合
沖縄県労働組合総連合

◆ 県内民主団体

静岡県商工団体連合会
新日本婦人の会静岡県本部
静岡県平和委員会
静岡県労働者学習協会
静岡県民主医療機関連合会
静岡県生活と健康を守る会連合会

◆ 政党

社会民主党静岡県連合
新社会党静岡県本部

静岡県評連第77回定期大会へのメッセージ

静岡県労働組合評議会
議長 菊池 仁 様

定期大会にお集まりのみなさんに、心から連帯とご盛会のお祝いを申し上げます。

24春闘で愛労連・愛知春闘共闘に結集する労働組合は、「物価高騰を上回る大幅賃上げ」「労働組合主導の春闘」をスローガンにかかげ、賃上げの追い風をつかみ、ストライキをしっかりとこまえてたたかってきました。5ケタのベースアップを勝ち取る仲間もありましたが、中小企業労働者やケア労働者、非正規労働者の生活改善につながる賃上げには至っていません。

こうしたなか、愛労連は非正規公務員の組織化での処遇改善をめざし、関係単産とプロジェクトチームを立ち上げ運動を進めてきました。「非正規公務員なんでも電話相談」、アンケートをもとにした記者会見などのとりくみなどがマスコミを動かし、社会をも徐々に動かしています。こうした経験を今後のたたかいにも活かし、「おかしいことにはおかしいと言い」、労働運動を可視化し、変化をつくりさらに運動を進めていきます。

能登半島地震から半年、現地では避難生活が続いています。わたしたちの仲間を含め全国からの支援が被災地に入り奮闘していますが、十分な復旧・復興には至っておらず、今後国による抜本的な支援拡充で復旧・復興を急がなければなりません。また、今後も予想される自然災害から命と暮らしを守るには、国も地方も減らしすぎた公務・公共体制を拡充しなければなりません。公共を取り戻すたたかいをさらにすすめましょう。

岸田政権は、裏金事件をうやむやにして私たちが積み立てた年金を軍事産業への利用、ガザ攻撃で利益をあげる企業や核兵器開発・製造企業などに巨額の投資、5年間で防衛費43兆円とし、敵基地攻撃能力を保有するとしています。税金は年金をはじめ、私たちの暮らしのために使われるべきものです。税金の使われ方を正し、戦争国家づくりを止め、ジェンダー平等の社会を実現に力をあわせ、近く実施が予想される衆議院議員総選挙で政治を変えましょう。今こそ、日本国憲法の理念のもと、誰もが安心して暮らして健康で文化的な生活を営める平和な社会の実現に向けて、国民が団結して声を上げていかなければなりません。

誰もが安心して暮らしていける社会を実現していくたたかいに、愛労連もみなさんと一緒に奮闘する決意を申し上げ、総会の成功を祈念し連帯のメッセージとします。ともにがんばりましょう。

2024年9月14日

愛知県労働組合総連合
議長 西尾美沙子



2024年9月14日

静岡県労働組合評議会
議長 菊池 仁様

メッセージ

第77回静岡県労働組合評議会定期大会 開催おめでとうございます。

憲法改悪反対・社会保障の削減反対・消費税増税反対など、誰もが安心して暮らせる社会を目指し、メッセージを送らせていただきます。

さて、世界では相次ぐ異常気象やロシアのウクライナ侵攻、イスラエルのガザ侵攻など世界中で戦争が起こっています。日本では、安保3文書に基づく敵基地攻撃能力を保有し、他国の領土内の基地や首都中枢、インフラなどを攻撃できる戦力を「持てる」としました。これにより沖縄・南西諸島に自衛隊のミサイル基地が配備されています。防衛費の予算は増え続けています。今国会では自民党、裏金問題が明るみとなり、逮捕者もでるなど、政治に対する信頼は大きく失墜しました。私たちの生活に目を向ければ、物価高騰などで苦しい状況が続いています。政治に対する国民の不信感は募るばかりです。

そんな、政治不信が地域でも起きました。岐阜県では、池田町長のセクハラ行為は第三者調査委員会で認定され、町長は4月に辞任しました。全国的にも大きなニュースとなりました。このセクハラ問題を告発した労働組合のたたかいは、社会的にも大きな注目を集めました。私たちが労働者に寄り添う運動が大切です。

昨年10月に労働組合を結成した、建交労赤阪通運分会は交渉を重ねてベア・定昇含む10,000円の賃上げを勝ち取りました。建交労西濃鉄道分会では、会社の不当労働行為も乗り越えて、賃上げや組合員拡大も実現しました。今、たたかう労働組合が必要です。寄り添う闘いを続けた岐阜県労連は昨年10月以来9つの労働組合を結成することができました。

私たちのたたかいで、8時間働けばまともに暮らせる賃金水準の実現、働きがいの持てる雇用・安心して暮らせる社会保障制度の充実などが不可欠であることに確信を持ち、運動を強めていきましょう。

静岡県評のますますの発展を祈念いたしましてメッセージといたします。

岐阜県労働組合総連合
議長 廣瀬 政美



2024年9月14日

静岡県労働組合評議会
議長 菊池 仁 様

福井県労働組合総連合
議長 鈴木 孝典

大会メッセージ

静岡県評のみなさんの日々のご奮闘に深く敬意を表するとともに、第77回定期大会の開催を祝し連帯のご挨拶を申し上げます。

さて、働く者にとって今もっとも大切なことは「労働組合の存在意義とは何か」ということではないかと思います。ハローワークで定期的に「求人票」の時給をチェックしていますが、非正規の求人では、ほとんどが福井県の最低賃金近傍となっています。「非正規でも、一日8時間働けば普通に暮らせる賃金を」「すべての労働者の子どもたちが、腹いっぱい食べれる賃金を」願ってやみません。

また、長時間労働による過労死と、長時間労働の末のパワーハラスメントが最後の引き金となった過労自死が後を絶えません。労働組合に求められているものの重みを強く感じています。

労働者の個人としての尊厳が守られ人として生きていける賃金と、働くもののいのちと健康が守られる労働時間を労働者の下に取り戻すこと。そして、個人の尊厳を否定するハラスメントは断固として許さない。このことが今、労働組合に強く求められているのだと思います。

そのためにも、小さい県労連ではありますけれども、県民のみなさんに「みなさんの願いを受け止める労働組合がここにある」ことを知っていただくための努力を怠らないようとりくみたいと思っています。

最後に、あらためて静岡県評のみなさんの定期大会の御盛會を祈念して大会メッセージといたします。

メッセージ

第 77 回静岡県労働組合評議会定期大会の開催おめでとうございます。

貴組織が、組合員の生活と権利を守ることと、平和と民主主義を守るたたかいを一体のものとして追求され、全国の仲間を激励する成果を収めているとともに、県民各層と共同の前進を一貫してすすめることにあらためて敬意を表します。

自民党政権が続けて来た新自由主義政策は、社会を劣化させ、国民に大きな負担を強いています。新型コロナウイルス対策でも能登半島地震の震災対応でも、「自助」を強いることで、国民は大変な思いをさせられています。いま必要なことは、国や自治体という公的機関の責任での「公助」を充実することです。

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から 13 年が経過しました。岸田政権は、エネルギー危機を口実に、原発の運転期間 60 年超延長や建て替え等の積極的推進に大転換しました。青森県では、めども立っていない核燃料サイクルを前提として、新潟・柏崎刈羽原発の使用済み核燃料をむつ中間貯蔵施設に搬入しようとしています。原発ゼロ、再生可能エネルギーへの抜本転換を実現するために広範な国民とともに奮闘しましょう。

改憲をめぐるのは憲政史上もっとも危険な状況です。自民党は、改憲の「年内の実現」に向け、再び秋の臨時国会で、憲法への自衛隊明記とともに緊急事態条項創設・議員任期延長改憲に向けた改憲条文案の策定を目指し、運動を強めています。

先の国会では、「戦争する国づくり」の法案がまともな審議のないままに成立しています。「重要経済安保情報の保護及び活用に関する法律」は、広く民間人の身辺調査を行うことでプライバシーと国民の知る権利を侵害し、国民監視を強めるものです。「地方自治法改正」は、国による地方自治体への「指示権」を認めることにより、自治体の自主性・自立性を奪い地方自治を侵害するものです。「食料・農業・農村基本法改定」は、食料の輸入依存を加速させ、国民の食への権利をいっそう脅かすものです。「食料供給困難事態法」は、基本法の不測事態条項（24 条）と抱き合わせで、命令と統制に基づく「食と農の有事法制」です。

戦後 70 年余、まがりなりにも日本の平和と安全を支えてきた憲法と戦後民主主義を根本から破壊させることは許されません。立憲主義の回復、個人の尊厳を擁護する政治の実現、大企業や金持ち優遇の国民生活切り捨てる金権腐敗政治から、労働者・国民のいのちと暮らしを守る政治への転換に向け共に奮闘しようではありませんか。

貴組織の新たな運動のスタートラインとして、定期大会が大きく成功されることを祈念し、連帯のメッセージといたします。

第 77 回静岡県労働組合評議会定期大会 御中

2024 年 9 月 14 日

青森県労働組合総連合 議長 奥村 榮

メッセージ

第77回定期大会にあたり、連帯とお祝いのメッセージを送ります。

貴労組が、組合員の生活と権利を守ることと、平和と民主主義を守るたたかいを一体のものとして追求され、全国の仲間を激励する成果をおさめていることに、心より敬意を表します。

岸田政権は国民・国会を軽視・無視し、敵基地攻撃能力の保有、5年間で総額43兆円という空前の大軍拡など、あらゆる分野で軍事優先の戦争する国づくりに突き進んでいます。物価高騰で苦しむ国民そっちのけの「金まみれの政治」に国民の不信と怒りは極限に達しています。今必要なのは、軍備の増強ではなく、「救援・復旧が遅々として進んでいない能登半島地震被災地に向けた支援」、「教育・医療・福祉の拡充」、「雇用と暮らし・営業の安定のための公的支援の強化」です。

岸田首相は、9月の自民党総裁選に立候補せず、首相退陣を表明し、政権を投げ出しました。国民の期待を裏切り続ける厳しい批判と、国民要求実現の世論が情勢を動かし、退陣に追い込んだと思います。しかし、改憲を実現し「戦争する国」への動きはいささかも衰えていません。暮らしを守り、権利をまもり、平和と民主主義をまもり、安心・安全な社会を作り上げていくため、労働者・国民の共同の取り組みを、さらに広げていかなくてはならないと考えます。

秋田県労連は、皆様のたたかいに学び運動を前進させていく決意です。今後よろしく願いいたします。

定期大会の成功と貴労組の発展を祈念し、メッセージとさせていただきます。

2024年9月14日

静岡県労働組合評議会
議長 菊池 仁 様

秋田県労働組合総連合
議長 越後屋 建一

メッセージ

静岡県労働組合評議会 議長 菊池 仁 様

静岡県評第77回定期大会おめでとうございます。

日頃より、すべての労働者を視野に賃金底上げ・引き上げや労働条件改善の実現、平和と民主主義を守るご奮闘に心から敬意を表します。

私たちは昨年夏、いわて労連を事務局とする「明るい民主県政をつくる会」として知事選をたたかい、自民・公明が推薦する候補に対し「オール岩手」が力をあわせ達増拓也候補の勝利をつかむことができました。全国からの支援カンパや応援、支援決定通知書等大変励まされたものです。ありがとうございました。その後の達増県政は、悪政の防波堤として賃金引き上げのための中小企業支援策「物価高騰対策賃上げ支援金」を打ち出し、今年2月から開始された申請が1万5千人を超えたと報告されています。全国で単独最下位となった「最低賃金893円」の岩手でしたが5月には、知事自ら労働局長に対し「最低賃金の改善を求める」申し入れを行いました。さらに7月8日、全国の知事に先駆けて「核兵器禁止条約の批准を政府に求める署名」に応じ、表敬訪問の参加者を激励しました。しかしながら、知事選で争点となった地域医療・20県立病院は「いわての強み」として「県立病院の充実」が公約に上がり大きな支持を得たにも関わらず、現在示されている「県立病院等経営計画2025-2031」（案）は、「機能分化と連携強化を一層推進」し、職員配置計画は看護・医療技術・事務部門の削減を打ち出しています。そして、無床化された6つの診療センターのうち「1診療センターの廃止」を初めて明記しました。国の「地域医療構想」に従順な、医師不足の現状追認の「合理化計画」と言えます。私たちは今、住民とともに地域医療を守る闘いがより一層求められているとして、幅広くパブリックコメントの取り組みを呼びかけているところです。

その大本である岸田政権は「いのち」「くらし」「大規模災害」よりも、「大軍拡・大增税」へと突きすすんできました。物価高騰をはじめ国民生活の危機に有効な手立てを講じないばかりか、自民党裏金事件を温存させる「政治資金規正法」改正で幕引きを図った対応に、労働者・国民の不信と怒りは収まらず、いよいよ総裁選不出馬に追い詰められました。さらに、岩手選出国會議員の公設秘書給与を巡る詐欺事件によって自ら辞職に追い込まれるなど、腐敗しきっているではありませんか。8月14日の記者会見でもなお岸田首相は「憲法改正」に固執し「戦争する国づくり」の最終段階である「明文改憲」をあきらめようとしません。私たちの要求実現を阻む岸田政権と自民党政治は、終わりにしていきましょう。

10月27日投開票の岩手県参議院補欠選挙がそのチャンスだと思います。来年7月には、全国で参議院選挙が控えています。改憲勢力3分の2を占める国会の勢力図を変えていきましょう。解散総選挙もささやかれています。市民と真の野党の共闘で、憲法を生かした平和外交を進め、いのち・くらし優先の政治に転換させていきましょう。

7月25日から開催された全労連定期大会では、「対話と学びあい」「ジェンダー平等」を大事な柱にして、組織のバージョンアップをなんとしても実現しなくてはと決意したところです。ともに前進していきましょう。大幅賃上げ・底上げと、中小企業支援と一体の全国最低賃金制度の法改正をめざして力をあわせていきましょう。

定期大会のご盛会と静岡県評の皆さまのますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げます。

2024年9月14日

岩手県労働組合連合会（いわて労連）

議長 中野 るみ子

静岡県労働組合評議会
議長 菊池 仁 様

第 77 回静岡県労働組合評議会定期大会へのメッセージ

日頃より、労働者の生活と権利の向上をめざしご奮闘されておられることに心から敬意を表します。

全国地方最賃が出そろいましたが、わたし達国民の苦しい生活実態を解消するに足る額とは言えません。「実質賃金」は前年同月より 1.4%減、過去最長を更新する 26 カ月連続のマイナス、物価高騰には追いつかない状況です。

自民党総裁選挙の報道は国民の目を欺こうとする意図が明らかです。国民のいのち暮らしを守る政策が語られず、マスコミの責任を果たしていません。

国民が生活苦で悲鳴をあげているなかで、自公政権の重点は戦争する国づくりを進め安保関連 3 文書を閣議決定、43 兆円の大軍拡と大増税、そして改憲をねらっています。

パーティー券疑惑は自浄できない自民党の姿を露呈し、国民の怒りの声は高まっています。先の国会で本来ならば、能登支援や生活救済策が優先課題であったはずでした。政治による格差を是正できず、国民の代表たる自覚は見取れません。こうした民意切り捨てを許してよいのかを国民県民に訴え、同時に一人ひとりが意見を持ち表現できることを周知していきましょう。「全国一律最賃制度・最賃 1500 円・1700 円を目指す・男女の格差をなくそう」わたし達の主張を見える化し、そして仲間を広げ、たたかいを一緒にすすめましょう。

恒久平和主義、戦争放棄を掲げる日本国憲法を遵守し、話し合いによる国際平和の実現、アメリカ言いなりではない主権国家の政府の実現をめざして、草の根の運動をともにすすめようではありませんか。国民、県民を無視する政治を許さず「くらしと平和守れ」の私たちの声が届く国政を実現しましょう。働く現場の隅々から、チェンジさせるため、来る総選挙で一緒に奮闘しましょう。

定期大会のご盛會を祈念いたしまして、メッセージとさせていただきます。

2024 年 9 月 7 日

宮城県労働組合総連合
議長 高橋 正行

静岡県労働組合評議会
議長 菊池仁様

メッセージ

静岡県労働組合評議会第77回定期大会の開催、おめでとうございます。静岡県評のみなさんのご奮闘に敬意を表しますとともに、私たちの活動に対するご支援に心から感謝を申し上げます。

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から13年が経過しました。事故を起こした原発の廃炉の見通しは立っていません。ALPS処理水の海洋放出の強行から1年が経過しましたが、30年程度で終了する保障はなく、抜本対策をとらなければエンドレスで続くことが危惧されています。

現在でも、放射線量が高いために自由に人が出入りすることができない「帰還困難区域」が7市町村に残されています。福島県の発表だけでも、約2万6千人の福島県民がすべての都道府県で避難を続けています。

こうした中で、岸田政権が「原発を最大限活用する」方針に転換したことは本当に許すことができません。原発を使い続けるということは、日本のどこかで、再び原発事故が起きる可能性が続くということです。こんな未来は変えなければなりません。原発ゼロの実現と福島への復興へ、引き続きご支援をお願いいたします。

岸田首相は国民の大きな批判の中で、政権を放り出しました。自らは裏金で私腹を肥やししながら、国民には低賃金、社会保障削減、増税を押し付ける政治、平和憲法を投げ捨て、大軍拡と「戦争する国づくり」に突き進む政治、こんな自民党政治はもう終わりにしなければなりません。労働者のねがいを実現する政治を、市民と野党の共同でつくりあげるために全力をあげましょう。

本日の定期大会を機に、要求実現の運動でも、仲間増やしでも、さらに前進をつくられることを祈念し、メッセージとします。

2024年9月14日

福島県労働組合総連合
議長 野木茂雄

メッセージ

第 77 回静岡県労働組合評議会定期大会の開催を祝し、貴組合と組合員の皆さまに連帯と激励のメッセージを送ります。

ロシアによるウクライナ戦争、イスラエルによるガザ攻撃は、終息の見通しが全く立っていません。日本国民も含めて世界中の人たちは、戦争ではなく平和を求めています。ところが、岸田内閣は「安保 3 文書」を閣議決定し、敵基地攻撃能力の保有や軍事費を 27 年までに 43 兆円に増額することを画策し、日本製の殺傷兵器の武器輸出を解禁してしまいました。

しかし、コロナ禍やウクライナ戦争、円安によって引き起こされた物価高の中で、国民生活は困窮を極めています。戦争に使う軍備ではなく、国民生活を守るための予算をこそ充実して欲しいというのが国民の思いです。最低賃金を全国一律 1500 円にすること、小中学校の給食費や医療費を無償にすること、大学の授業料を半額にして給付型奨学金制度を拡充すること、酪農など農業支援を充実させて食糧自給率を向上させること、インボイス制を撤回し消費税を 5 %に引き下げ小規模事業者の経営を安定させて地域経済を活性化させること等、国民生活を守る政策を岸田内閣は推進すべきです。

また、この間の裏金問題を考えれば、岸田政権に政権担当能力があるのかが問われています。国民は 1 円の領収書も提出が義務づけられているにもかかわらず、国会議員の領収書は 10 年後に公開などあり得ないことです。国民の反対の声を無視して、公明党や維新の会との合意で政治資金規正法を成立させてしまうことなど許されることではありません。企業団体献金を廃止しなければ、企業献金によって政治が歪められ続けてしまいます。

茨城労連は、今年のメーデーで「軍拡・大增税 NO! 労働者の生活と権利を守ろう」をメインスローガンにし、軍拡・大增税反対の声を上げました。引き続き、茨城労連は静岡県労働組合評議会の皆さんとも連帯して、平和の実現と労働者の要求実現のための運動に取り組んでいきます。

最後になりましたが、貴労働組合の定期大会が組合員の皆さまの積極的な討論で成功されることを心より祈念致します。

茨城県労働組合総連合
議長 鈴木 貴



静岡県労働組合評議会 様

メッセージ

静岡県労働組合評議会第77回定期大会のご盛会を心よりお祝い申し上げます。

日頃、職場労働者と地域のくらしを守るためにご尽力されていることに心より敬意を表するとともに、すべての労働者・国民のくらしを守り、平和の実現をめざして連帯のメッセージを送ります。

岸田首相は、「自身の自民党総裁任期中に憲法改正を実現したい」と言い続け、通常国会の閉会においても「引き続き憲法の議論を一步でも前へ進める」と改憲に前のめりの姿勢を露わにしていました。さらに、敵基地攻撃能力の保有などの大軍拡に踏み出し、アメリカいなり敵基地攻撃能力の保有と43兆円の大軍拡、今年度予算の軍事費は前年から1兆円以上も増額されて約8兆円にもなり、武器輸出による大企業への利益獲得にも走っています。

そのような情勢のなか、物価の高騰も止まらず、私たちの生活は、日に日に厳しくなっています。今年4月からは、一部医療機関の初診料800円値上げ、一部医療機関診療費最大月額4000円値上げ、介護保険料最大月額1000円程度値上げ、国民健康保険最大年4万円値上げ、70歳以上の高額医療費最大月額4000円値上げ、70歳以上の高額医療費最大月額17万円値上げ、介護サービス自己負担率3割に引き上げなど国民の生活は苦しくなるばかりです。

また、今年1月の、「能登半島地震」により、多くの方々が亡くなり、今なお避難生活を余儀なくされている大規模な被災となっています。また家屋の倒壊や道路の寸断により、事故が起きた際の避難が屋内も屋外も困難であることも示され復興もすすんでいません。さらに能登半島地震では、石川県の志賀原発、新潟県の柏崎刈羽原発、福井県の高浜原発でも事故につながりかねないトラブルが発生しています。

岸田首相は、そのような中でも47年が経過した高浜原発2号機の再稼働などGX実現とした原発再稼働と新增設・建て替えをすすめ原発を最大限活用という立場を示しています。

埼労連は、軍拡や防衛予算拡大にひた走り、平和憲法まで変えようとする岸田政権の暴走政治をストップさせ、憲法をいかし、ジェンダー平等の社会の実現、雇用破壊や労働法制の改悪を阻止して、すべての国民が人間らしく生き、働き、安心して暮らせる平和な社会の実現をめざし奮闘する決意です。

結びに、すべての労働者が人間らしく生き、安心してくらし働くことのできる社会の実現をめざし、静岡県労働組合評議会のますますのご発展と、ご参会の皆さまのご健勝を祈念し、第77回定期大会にあたってのお祝いのメッセージといたします。

2024年9月14日

埼玉県労働組合連合会
議長 新島 善弘

静岡県労働組合評議会 様

メ ッ セ ー ジ

静岡県評第77回定期大会の開催にあたり、千葉労連を代表して連帯のご挨拶を申し上げます。

はじめに、静岡県評のみなさんが静岡県で働く労働者のくらしと権利を守るとともに、すべての労働者・国民と連帯し悪政阻止のたたかいでも日々奮闘されていることに対し、心からの敬意を表します。

2年以上続いている物価高騰は、実質賃金を引き下げ、多くの労働者の生活に負担を強いています。千葉労連は、労働者全体の賃金底上げのための社会的な賃金闘争として、公務員賃金の改善、公契約条例の制定、そして全国一律最賃制度の確立を求め取り組んできました。

裏金事件と真相解明に後ろ向きな首相の対応、物価高騰のもとでの経済無策などに国民の不信が高まり、内閣支持率が低迷を続けてきました。裏金事件などへの国民の怒りの世論と運動に追い詰められた結果にはほかなりません。首相が就任からの3年間を振り返り、原発再稼働や5年間で43兆円に上る大軍拡計画などを「大きな成果」と誇ったことは重大です。しかも、首相は憲法改定について、国会での初の発議に向け、自民党内で、9条への自衛隊明記と緊急事態条項創設の論点整理と条文化を今月末までに「着実に実行していく」と表明しました。これまで推し進めてきた対米従属のもとでの「戦争国家づくり」を加速、完成させようとするものです。

今後、自民党総裁選挙によるメディアジャックの様相を呈します。すでに立候補を表明する議員は裏金問題には後ろ向きで、憲法改正には前向きの主張をしています。国民の政治への信頼を取り戻すには、自民党政治を終わらせることこそ必要です。

静岡県評のみなさんが本定期大会を成功させ、さらに組織と運動を発展させる方針を確立されることを祈念し、連帯のメッセージとさせていただきます。ともにがんばりましょう。

2024年8月20日

千葉県労働組合連合会

議長 寺田 勝弘

静岡県労働組合評議会

議長 菊池 仁 様

第77回静岡県労働組合評議会定期大会へのメッセージ

第77回静岡県労働組合評議会定期大会の開催おめでとうございます。貴労組のみなさんが、労働者・国民のいのちとくらしを守り、平和と民主主義を守るため、日夜ご奮闘されていることに心から敬意を表します。また、日頃から山梨県労へのご協力に深く感謝申し上げます。

世界に目を向ければロシアのウクライナ侵略が続き、パレスチナ・ガザでは無辜の民が日々命を絶たれる状況が続いています。今、岸田政権はアメリカ言いなりで大軍拡路線を突き進み、軍事費倍増を狙っています。ミサイル開発と配備、さらには防衛装備移転三原則の見直し、戦闘機の輸出解禁、防衛費を5年間で4.3兆円へと天井なき軍拡が進められようとしています。敵基地攻撃能力の保有は「専守防衛」を破り、「武力による威嚇」を禁止する憲法9条に反するものです。私たちは平和と憲法を守る闘いに全力をつくします。また、核兵器の使用と配備の脅迫が行われるなかで、核兵器廃絶にむけた国際的世論と運動を強めていくことが人類共通の課題であり、政府に対し核兵器禁止条約の早期批准を求めています。山梨県労は、ガザの即時停戦を求め、ロシアのウクライナ侵略戦争に断固反対します。

政府と財界の30年に及ぶ賃金抑制策が暮らしと日本経済を破壊しています。山梨県労は、物価高騰を上回る大幅賃上げ・底上げで生活改善をはかり、ジェンダー平等の視点から均等待遇と格差是正をめざしています。大企業の優遇税制是正と内部留保課税、中小企業への価格転嫁を凶る適正取引規制と消費税減税で個人消費を拡大させ、インボイス制度廃止、年金・医療・介護制度の拡充、紙の保険証廃止撤回とマイナンバー利用拡大の中止、予算の拡充、中小企業と営農の支援、食料自給率の向上、地域活性化による日本経済回復をめざします。能登半島地震被災地の早期復旧・復興、被災者本位の支援、防災予算の拡充を求めます。国民に負担を押し付ける一方で、国民の血税である政党助成金を受け、さらには企業献金で裏金をため込み、大企業、利権団体への政策を押し進める岸田政権の早期退陣へ、市民と野党共闘の深化・発展、政治の転換をはかる運動に全力をつくします。いのちと暮らし、憲法が活きる安全で安心した社会の実現、そしてすべての人が人間として尊重され、幸せに暮らせる社会の実現に向けて力を合わせて奮闘しましょう。

貴定期大会のご成功を祈念し、山梨県労からの連帯のメッセージといたします。

2024年9月14日
山梨県労働組合総連合
議長 上間 正 央
公印略

メ ッ セ ー ジ

第77回静岡県労働組合評議会定期大会の開催をお祝い申し上げます。

日頃より、労働者のくらしと権利を守るため、また地域のすべての市民のくらしを守るために奮闘されている静岡県評のみなさんの活動に敬意を表します。

5月の「実質賃金」は前年同月より1.4%減り、過去最長を更新する26カ月連続のマイナスとなりました。物価高は国民・労働者の生活を圧迫し続けています。社会保険料や税金の国民負担は多くなる一方で、防衛省は2025年度予算案の概算要求で、過去最大の8兆円前半の防衛費を計上する方針を打ち出しました。

岸田首相は自民党総裁選挙に立候補しないことを8月14日に表明し、岸田政権に終止符が打たれることになりましたが、岸田政権3年間で、民主主義・立憲主義・憲法破壊、対米従属の悪政がより一層進みました。派閥の裏金作りの全容解明も議員の処分にも中途半端で、「政治とカネ」の問題に対する国民の怒りにも背を向けたままです。

自民党は後継者選びでマスコミを巻きこみ、裏金事件も統一教会との関係もなかったことにしたいようですが、国民の批判を真摯に受け止めることができない自民党に明日の政治を託すわけにはいきません。市民本位の政治、軍事同盟に頼らない平和の実現を目指すために、市民と野党共闘をすすめていきましょう。

各県の最低賃金の改定額が出そろいました。今年は中央審議会の目安が全国一律50円で、地域審議会の目安額が注目されましたが、Aランクの都府県は揃って50円でした。しかし人口の流出に歯止めをかけたいB・Cランクの県が、なんとか昨年の加重平均額に近づけたいと頑張りました。新潟県の最低賃金は、関東圏と比べて低く、人口流出は地域の大きな課題です。今年の審議会では、県労連から5人が意見陳述をしました。会計年度任用職員の司書さんは、「最低賃金」に張り付く形で設定されてきた賃金の手取りは年収200万円に満たない。「新潟県で結婚して、子どもを育てて、安心して老後の生活をしていくための生活の礎となる賃金を」と訴えました。低すぎる最賃を1500円以上、そして中小企業の直接の支援を求めました。

格差が広がる社会ではなく、働きがいのある人間らしい仕事で日々の生活を営むことができる社会をめざして、ご一緒にがんばろうではありませんか。

静岡県評のみなさんが本大会を成功させ、さらに組織と運動を発展させる方針を確立されることを祈念し、連帯のメッセージとさせていただきます。

ともにがんばりましょう。

2024年9月14日

新潟県労働組合総連合
議長 寺崎 洋子

静岡県労働組合評議会 様

メッセージ

静岡県労働組合評議会 第77回定期大会 おめでとうございます。

長野県労連から連帯のメッセージをおくります。

全労連と共に労働者・国民の声を大切にしながら、労働者の権利を守り発展させるため闘い続けて、第77回定期大会を迎えられたことに敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。

24春闘では、「満額回答」「高水準」として、すでに妥結する大企業労組が目立ちます。高水準の回答は、報道で「闘争無き満額回答」などと揶揄されています。一方、多数をしめる中小企業の賃上げは厳しく、二極化する回答結果となっています。

政府・財界は、一貫して雇用の流動化と労働者保護の規制緩和をすすめ、正規雇用から非正規雇用への置き換えを大規模に進めてきました。コロナ禍で内部留保を増やす状況でも、労働者、とりわけ、ケア労働者、非正規雇用労働者、女性労働者の賃金の改善、労働環境の改善には消極的です。

今、世界では、ロシアのウクライナ侵略、イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区でのジェノサイド（人種的・民族的集団の殺害）が続き、多くの市民の命が奪われ続けています。また、日本海周辺での政治的緊張が強調されています。こうしたことを口実に、岸田政権は軍備拡張路線を突き進み、ミサイルの開発、配備をはじめ、防衛費予算を5年間で43兆円もの大軍拡を進めようとしています。また、日本政府は唯一の戦争被爆国でありながら、核抑止論に固執し、核兵器禁止条約に背を向けまま、原発回帰政策を打ち出しています。

皆様と共に、大軍拡と増税ではなく、内部留保への課税など大企業優遇の是正で生み出した財源で年金・医療・介護など社会保障を拡充し、すべての人が安心して暮らせる社会、人権が保障される豊かな社会をめざして、共に奮闘していきましょう。

本大会の成功を契機に、貴組織と運動がさらに大きく前進することを祈念し、連帯のご挨拶いたします。

2024年9月14日



長野県労働組合連合会
議長 細尾 俊彦



静岡県労働組合評議会 御中

メッセージ

第77回定期大会の開催、おめでとうございます。

いつも、滋賀県労連の活動にご理解ご協力いただいていること、心から感謝申し上げます。力強いお取組みに心から敬意を表します。

岸田政権は改憲を進める姿勢をあらわにし、死の商人へと軍備を輸出するなど大変危険です。6月23日に会期末を迎えた今国会は共同親権、セキュリティークリアランス、農業基本法など十分な審議のないまま可決されました。入管法・技能実習法改正案は問題が多く、地方自治法改正案は大変危険です。大軍拡・大增税、人権無視など悪法のオンパレードです。審議に関わる議員の質もあぶり出され怒りに震えます。また金にまみれながら居直る自民党議員の姿に怒りを感ずります。

動きの監視と共通理解を深める学習をすすめ、安全安心の社会の実現のため、あらゆる共同を広げて、運動を強めていかななくてはならないと考えます。

滋賀県政においては、国民スポーツ大会施設建設や新庁舎、大企業誘致、高専など大規模公共事業に大盤振る舞いの反面、昨年の県立病院の独立行政法人化の画策、県立病院の統廃合とベッド削減など公的責任を放り捨てる姿が顕著です。長年要求されてきた養護学校の新設も兆しが見え始めましたが、スピード感がありません。県民、関係の団体個人と共同して、「公共を再生する」たたかいと位置づけ取り組んでいます。

わたしたちは「8時間働けば暮らせる社会・賃金」「ひとりの『仕方ない』からみんなで「変える」へ」と進むよう取り組みを行っています。法律無視の事業者が跋扈していますし、最低基準である労働基準法を除外しようとする動きも見えてきています。認められるものではありません。この状況の中で、仲間を増やし、声を上げ続けることをあきらめず、声を力にすることが強く求められていると痛感しています。憲法の理念が守り生かされ、当たり前が当たり前として生きる社会と未来のため、取り組みを強めます。

今日の皆さんの大会が明日からの運動をさらに強めることとなりますようにお祈りして、また、引き続きの共同の取り組みの願いをしてメッセージとします。共に力を尽くしましょう。

滋賀県労働組合総連合
議長 高岡 光浩



静岡県労働組合評議会 御中

メッセージ

静岡県評第77回定期大会のご盛会を祝し、京都総評より心からの激励と連帯のメッセージを送ります。

物価高騰が続く中、で労働者・国民のくらしはますます厳しくなっています。24春闘では、ベアにこだわり、物価高騰を上回る賃上げを求めて大いに奮闘してきました。同時に、すべての労働者の賃上げをめざし、最低賃金1500円の実現へ全力をあげて取り組みをすすめてきました。

8時間働いたらふつうに暮らせる賃金と働くルールを求め、賃金・労働条件の改善、安定した雇用の確保などの課題と中小企業・小規模事業者への直接支援で最低賃金1500円実現、消費税減税・インボイス中止などの国民的要求と切り結んで取り組みをすすめ、労働組合らしく、しっかり要求をかかげて元気にたたかっていきましょう

自民党派閥のウラ金問題は「政治を金で買う」最悪の金権政治であり、国民の怒りは頂点に達しています。こうした中、世論と運動に追い詰められて岸田首相が自民党総裁選に出馬しないと表明しましたが、岸田氏が辞めても「ウラ金・自民政治」がなくなるわけではありません。政治刷新へ世論と運動を強め、大軍拡を許さず、憲法平和と憲法を守るたたかいにお互い全力をあげましょう。国民のいのちと暮らしを守り切る政治への転換をもとめて奮闘しましょう。

今こそ、労働組合の出番です。

すべての労働者に労働組合を知らせ、労働組合を強く大きくしていこうではありませんか。

静岡県評の一層の発展を祈念し、メッセージとします。

ともに、がんばりましょう。

2024年9月14日

京都地方労働組合総評議会
議長 梶川 憲

静岡県労働組合評議会
議長 菊池 仁 殿

2024年9月14日
奈良県労働組合連合会
議長 松本 俊一 

第77回定期大会へのメッセージ

定期大会のご成功、おめでとうございます。

日本の労働者の賃金水準はOECDの中でも低位に置かれています。厚労省の報告では6月の実質賃金が27ヶ月ぶりにプラスに転じたものの、物価の上昇が生活にきびしい影響をあたえています。この夏、最低賃金の審議が全国の地方審議会で行なわれましたが、中賃の目安50円の提示に対し、地方の審議会でも格差解消に向けて慎重な審議が重ねられ、目安+1~34円の改定を答申されました。賃金の底上げに効果を発揮する最低賃金を今すぐ全国一律に、時間給を1500円に引き上げることが喫緊の課題となっています。

こうしたもとで、24春闘では賃金の引き上げがマスコミで大きく報道されてきました。全労連傘下ではストを構えるなどの取り組みで、大幅賃上げの成果を勝ち取るうとする労働組合の奮闘が報告され、改めて労働組合の真価を伝えるものと評価されました。

貧困と格差の是正、同一労働・同一賃金の実現や8時間働いて真に安心してらせる賃金と労働条件の確立は、私たち労働組合が、仲間を増やし、取り組みを強化することで勝ち取らなければなりません。

また、岸田内閣は、「敵基地攻撃能力」の容認、軍事費の大幅増額で、戦争をする国づくりを押し進める危険な道を歩み始めています。内閣支持率の低下の下、岸田首相は自民党の総裁選に不出馬の意向を示しました。このまま自民党に政権をまかせておけないという世論に押された結果です。いのち・医療・社会福祉・くらし・平和を守る重要な闘い、憲法を守り、民主主義を発展させるための闘いはこれからも重要となっています。たたかいの課題は山積です。

貴労組が、今日の定期大会の成功を基に新しい方針で、さらに大きくご発展なされることを祈念し、お祝いのメッセージとします。ともにがんばりましょう。

静岡県労働組合評議会第77回定期大会へのメッセージ

静岡県労働組合評議会第77回定期大会のご盛会おめでとうございます。

静岡県労働組合評議会のみなさんが、労働者・国民の要求実現、平和と民主主義を守るために全力をあげられて来られたことに敬意を表します。

さて、政府と財界の30年に及ぶ賃金抑制策が暮らしと日本経済を破壊し、長引く物価高騰で実質賃金低下が続き、格差と貧困が拡大しています。能登半島地震の被災者への支援もまだまだ届いていません。国外では、ロシアのウクライナ侵略が続き、パレスチナ・ガザでは住民の命が奪われ続けています。

岸田政権は、このような状況下でも国民生活や世界の平和を顧みず、財界奉仕の政治の下で、原発推進・くらしと福祉のデジタル支配をすすめ、医療・介護など社会保障や教育を削り続けてきました。また、労働者保護法制の大改悪を画策しています。敵基地攻撃能力の保有と大軍拡・武器輸出に踏み出し、改憲に突き進んできました。

しかし、これらの悪政と「裏金」疑惑の真相究明に背を向け続けた結果、国民の怒りが、岸田首相を自民党総裁選へ出馬できない状況に追い込みました。

大阪では、維新型政治による労働者・労働組合への権利侵害とともに、住民サービス切り捨てが続く中、府民生活は増々困難を増しています。大阪府や自治体がすすめるべき施策を民間に投げ出し、公共の責任が問われています。さらに、疑問や反対など多数の府民・国民世論を無視して「大阪・関西万博」の開催に突進し、カジノ建設に邁進しています。しかし、強権的な維新政治との矛盾も大きくなってきています。

大阪労連は、貧困と格差の解消、持続可能な社会、戦争のない平和な世界めざして、働く者の手で、未来をつくりだすためにたたかっていきます。8時間働けば、人間らしく暮らせる職場と社会の実現を求めて、職場や地域で一つひとつの行動をつなぎ、市民と野党共闘の進化・発展をすすめていきます。公共を取り戻し憲法がいかされる政治への流れを作り上げていくために、みなさんとご一緒に全力で奮闘する決意です。

最後に、この大会でのいっそうの組織のご発展を祈念し、メッセージとさせていただきます。

2024年9月14日
全大阪労働組合総連合
議長 菅 義人

静岡県労働組合評議会 御中

第77回定期大会へのメッセージ

定期大会の開催おめでとうございます。

労働者の権利を守り、社会保障の充実や平和の発展のため連日ご奮闘されていることに敬意を表します。

岸田首相は、「裏金問題」の責任をとるとして自民党総裁選への出馬を取りやめました。しかし、新総裁が決まっても、これまでの自民党政治が変わることはありません。岸田政権のもと閣議決定した「安保3文書」にもとづき、軍事費を5年で43兆円、2027年度にはGDP比2%へ増額し、自衛隊を実質上米軍の指揮下におくこともきめ「戦争する国づくり」を前に進めています。

核保有を進言する維新の会や改憲を後押しする勢力に対抗し、いまこそ、憲法をいかした政治に大本から転換すべきです。

また、物価高騰が続く中で、働くものの賃金を大幅に引き上げなければ、暮らしを守っていきけません。兵庫県では、最低賃金が目安プラス2円の「52円」引き上げとなりましたが、わたしたちが要求している最賃1500円には一桁すくない引上げ額です。最低賃金全国一律への法改正と“いますぐ1500円以上、めざせ1700円”の実現を求めていきましょう。

さらに、労働基準法の改悪・ゼロゲーションを許さず、公務員の労働基本権回復を実現し、職場での男女間賃金格差是正でジェンダー平等を実現させましょう。

労働組合が、春闘での賃上げの流れを飛躍させ、物価高騰を上回る賃上げに向けて、主役となるたたかいが求められています。秋にかけて確定闘争や年末一時金などの闘いも続きます。たたかいはこれからです。

兵庫労連もこれまで以上に共同を広げ、7時間働けば帰れる・暮らせる社会をめざし、憲法改悪ストップ、少人数学級の実現、社会保障・福祉の充実、労働者の平和・生活を守るため、今後も共に奮闘する決意を申し上げます。

最後に、今大会の成功と貴労組のますますのご発展を祈念してメッセージいたします。

2024年9月14日
兵庫県労働組合総連合
議長 成山 太志





2024年8月20日

静岡県労働組合評議会
議長 菊池 仁 様広島県労働組合総連合
議長 神部 泰

メッセージ

第77回定期大会の開催おめでとうございます。

2024年、今年の元旦夕方に能登半島地震が起きました。地震の発災から半年が経過しました。今なお多くの方が避難され、水道や道路の復旧は大幅に遅れ、全国からのボランティアの活動も進んでいない状況です。

広島県労連としても、全労連や全国災対連の取り組みや情報を得ながら、先日6月25日より3日間、5名で輪島市や珠洲市の仮設住宅への支援物資のお届けと聞き取りの取り組みに参加してきました。倒壊のままの住宅、ボランティアが入りきれない状況、狭すぎる仮設住宅、広島の災害と比べ復興へ向けた取り組みが全く進んでいない状況を感じました。国や石川県、市の対応の遅さに怒りをもって感じ、大阪万博より能登地震の復旧・復興支援に全力で取り組むべきと強く感じました。

コロナ禍も終息したとは言えない上に、長年におよんだ失政が恐るべき物価高をまねき庶民の暮らしにフタをしています。ロシアによるウクライナ侵略戦争が長期化し、イスラエルによるガザへのジェノサイド的爆撃が加わり、世界に「戦争の惨禍」が覆いかぶさっています。

ところが岸田政権は、こうした状況には目もくれず、「アメリカの同盟国の結束による核抑止力の拡大」と「軍拡財源確保と防衛力の倍増」、「原発推進による核保有」、「地域医療構想」や「医療介護報酬の改定」国民を効率よく管理するマイナカードなどに向かってまっしぐらに突き進んでいます。日本と世界を「新しい戦前」に導くものであり、どう受け入れることのできないものです。

「政党助成金」の奪い合い、政治資金パーティーでの裏金づくりなど「金権・腐敗」の極致に立っていることが次々明らかとなり、こうした「政治はごめんだ」「いくら何でも許せない」の全国の世論の渦の中で、とうとう広島選出の岸田首相は先日、退陣の意向を明らかにしました。今後、自民党の顔が誰に変わっても裏金問題をはじめとした真相と責任を明らかにさせることや日本の全世代のみなさんと共有し、平和と政治を国民の手にとりもどすことが必要です。

こうした中で開催される定期大会において、「大幅賃上げ」「組織拡大・強化」などの大きな流れをさらに広げ、平和で誰もが安心して働き続けることができる職場の実現へ向けて参加者のみなさんの熱い論議で方針が確立され、大きな前進をつくられることを祈念し、広島県労連も共に奮闘することを申し上げ連帯のメッセージとします。ともに頑張りましょう。

以上

メッセージ

静岡県労働組合評議会 殿

第77回定期大会を祝し、連帯のメッセージをおくります。

静岡県評のみなさんのご奮闘に敬意を表しますと共に、日頃私たちのたたかいにご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザ地区侵攻によって、多くのいのちとくらしが犠牲になっています。戦争は最大の人権侵害であり、環境破壊でもあり「戦争にならない」外交の重要性があらためて求められています。ところが、岸田政権は、ロシアの軍事侵略を口実に改憲や大軍拡の政策を強め、5年で43兆円という莫大な税金をつぎ込み、敵基地攻撃能力の保持、軍事産業の推進、武器輸出など平和憲法を踏みにじり、北東アジアの緊張を高めています。このようななかで、米軍による暴行事件やその隠ぺい、自衛隊の軍事企業との癒着や事故・不祥事が相次いでいます。

財界・アメリカ優先の岸田自公政権は、憲法だけでなく労基法も亡き者にしようとしています。政府の労基関連法制研究会が「労使自治に労基法が介入すべきでない」としてデロゲーションを求め、年明けにも労働政策審議会にかけようとしています。大企業は内部留保金を積み増しする一方で、労働者の多くは低賃金・長時間過密労働を強いられており、労使自治と言っても経営者の意向で命綱の労基法まで奪われかねません。

今こそ、私たち労働組合の真価が問われるときです。「軍拡ではなく、国民のいのちと暮らしを守れ」の声を大きくあげ、大幅賃上げ、最賃全国一律1500円、労働法制改悪阻止、消費税減税・インボイス中止、格差是正・ジェンダー平等、健康保険証廃止反対、社会保障拡充、万博中止、能登半島被災者支援強化、改憲阻止などの実現に力を合わせましょう。

静岡県評が本大会を機に益々前進されることを祈念します。

ともにがんばりましょう。

2024年9月14日

徳島県労働組合総連合
議長 山本 正義





第 77 回定期大会メッセージ

静岡県労働組合評議会の第 77 回定期大会の開催にあたり、心より激励と連帯のメッセージをおくります。

日本は他の国に例を見ない賃金さがり続ける国となっていましたが、24 春闘の闘い名地この間の私たちの闘いで 5% 近いベアを勝ち取るなど賃上げの流れを強めることが出来ました。しかし、物価高騰にはまだまだ不十分な状況で、実質賃金は 26 か月連続でマイナスとなっており、引き続き大幅賃金引き上げの闘いの強化が求められています。

引き続き日本の大企業は巨額な利潤を積み増しており、財務省の法人企業統計で 2023 年 7~9 月期の資本金 10 億円以上の大企業内部留保は 527.7 兆円に上り、前年に比べて 22.3 兆円、4.4% 増となっています。所得格差を示すジニ係数は過去最高の 2014 年に次ぐ水準となっており、非正規労働者・女性・高齢者の層で貧困化が進み、所得・資産格差が拡大し公平で公正な社会とはいいがたい状況となっています。

2022 年 12 月に岸田政権が閣議決定した安保 3 文書は「敵基地攻撃能力」保有、5 年で 43 兆円の軍拡の方針が示され、これまでの政府が憲法に基づいて「専守防衛」に徹し、日本を軍事大国化させないとしてきた防衛政策を大きく転換させました。2024 年には「防衛装備移転三原則」を改定し、武器輸出の歯止めが失われ、2024 年度軍事費概算要求は過去最高の 7.7 兆円を計上し、沖縄をはじめ九州各地で軍事基地化が進められています。すでに日本はアメリカとともに「戦争する国」として実行段階となっています。

私たちは戦争する国づくりを許さない国民的なたたかいに全力をあげるとともに、消費税減税などの税制改革・保険料を減らし給付を増やす社会保障改革と最低賃金の闘いを中心とした社会的賃金闘争を連携させ、国内全体の経済を回復し、あらゆる格差のない、貧困と縁のない社会づくりを進めていきます。

静岡県労働組合評議会に結集する皆さんが組織拡大・強化をすすめ、貴組織が強く大きくなり、皆さんの団結の力で国民の命とくらし・雇用・職場を守るたたかいを進める力強い方針等確立され、今後益々発展するよう祈念し、お祝いのメッセージといたします。

2024 年 9 月 14 日

福岡県労働組合総連合

議長 三苫 哲也



メッセージ

静岡県労働組合評議会 御中

第77回静岡県労働組合評議会定期大会おめでとうございます。沖縄県労連より連帯のメッセージをさせていただきます。

25年の長きにわたり実質賃金の上がらなかった日本で、少しずつでも改善しているのは、静岡県労働組合評議会をはじめ全労連に結集する私たち労働者の粘り強い運動であることは間違いありません。時給1500円を掲げた当時は見向きもされなかった要求が、今では当たり前となっている事に確信を持ち、ともに運動をすすめようではありませんか。

今年6月25日に新聞報道で明るみとなった沖縄の少女暴行事件。米兵による身勝手に卑劣な犯罪が、戦後79年経っても繰り返される不条理は許されることではありません。そればかりか、国民を守るはずの国の機関は、97年に日米で合意した通報体制を守らず、沖縄だけでなく全国でも通報しない運用になっていたことが明らかになりました。沖縄の問題は沖縄だけの問題ではなく、沖縄の問題は日本全体の問題の縮図です。基地があれば全国で事件事故が繰り返されます。日本から基地をなくすこと、そのために日米安保条約を破棄することが必要です。そしてそれは、県民のための政治にすることなしに実現することはできません。

連帯とともに頑張りましょう。

2024年9月14日

沖縄県労働組合総連合
議長 穴井輝明

静岡県労働組合評議会 御中

第 77 回定期大会へのメッセージ

静岡県労働組合評議会第 77 回定期大会のご盛会おめでとうございます。

長い円安状態による物価の高止まりで、中小業者の経営や暮らしは改善の見通しが立たないままです。パーティー券問題で金権腐敗体質が白日の下に晒された自民党議員らは、この間も自らの責任について明らかにせず、岸田首相に至っては次期総裁選に出馬しないことを表明しうやむやなまま幕引きをしようとしています。

現在、自民党総裁選に向けた報道で大騒ぎですが、首を挿げ替えるだけでは金権腐敗政治は変わらず、国民の暮らしの実態に目を向ける政治は実現されません。

来たる総選挙で、金権腐敗政治、政治家を一掃し、国民のための政治を実現させるため共に頑張りましょう。

今年の最低賃金改定では、静岡県もようやく時間 1,000 円を超える見込みとなりました。労働者のみなさんはじめ貴会のみなさんの日々のご奮闘と、運動の前進に心から敬意を表します。

賃金の上昇は地域経済活性化や中小業者の経営単価の上昇にもつながります。中小企業・小規模事業者の社会保険料負担の軽減など、賃上げを進んで取り組める環境づくりに向け国や県に対する要請などに力を入れ、誰もが 8 時間働けば人間らしく暮らせる公平な社会の実現に向け、私たちも学習と運動を強めていきます。

これからも相互学習で理解を深め、最低賃金の大幅引き上げに力を合わせましょう。

まずは大会ご参加の皆様のご健康と引き続いてのご活躍、そして貴会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げ、連帯のメッセージとさせていただきます。

2024 年 9 月 14 日

静岡県商工団体連合会
会長 大石 秀之



静岡県労働組合評議会
議長 菊池 仁 様

メ ッ セ ー ジ

第 77 回静岡県労働組合評議会定期大会の開催おめでとうございます。

賃金は上がらないのに物価高騰で貧困と格差がさらに広がり、猛暑と豪雨、さらにこの夏はスーパーからお米が消える米不足など、私たちの暮らしの不安は大きくなるばかりです。

静岡県評春闘で示された、大幅賃上げ、労働法制改悪規制緩和をとめる、社会保障の充実、政府の改悪策動を、憲法が生かされる社会などの方針を支持します。

私たち新日本婦人の会は、草の根の運動から、憲法改悪反対、軍国主義復活を阻止、生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのため、皆さんとごいっしょに力を合わせ行動していきます。

静岡県下の運動を常に牽引していただいている静岡県労働組合評議会の皆様に、心より敬意を表します。

第 77 回静岡県労働組合評議会定期大会のご成功を祈念いたします。

2024 年 9 月 14 日
新日本婦人の会静岡県本部
会長 田中嶋 直子

2024年9月14日

静岡県労働組合評議会

議長 菊池 仁 様

静岡県平和委員会

代表委員 小林和江

メッセージ

日ごろから、平和と核兵器廃絶の運動にご協力いただき感謝申し上げます。

第77回静岡県労働組合評議会定期総会にあたり、県内の労働運動に大きな役割を果たしていることに敬意を表し祝福と連帯のメッセージを送ります。

今年の春闘結果では史上最高の賃上げ結果が報道されました。これは、長引く低賃金と物価高の影響で労働者と国民の生活が苦しくなっている中で当然の引き上げであり勝ち取った貴重な成果です。しかし、依然として中小企業や非正規労働者の待遇は不安定なままであり、生活改善のための実質賃金の改善や最低賃金の引き上げとともに、年金生活者の改善も必要になっていると思われま

す。8月14日、岸田首相の退陣が表明されました。国会での多数の議席にあぐらをかき、旧統一協会との癒着や自民党の裏金問題、円安による物価高などで内閣支持率は低迷しています。安倍政治を続けて来たツケで万策尽き果てた結果でしょう。

また、5年間で43兆円もの軍事費を閣議決定し、地方自治破壊の大軍拡と増税へと突っ走る政治への批判も高まっています。戦争のできる国づくりをやめさせ憲法に基づく外交努力による平和な国家づくりに方向転換させることが緊急の課題になっています。

今年はビキニ水爆被災から70年、そして来年は広島長崎の被爆80年です。この1年を核兵器をなくす行動の年として提起されています。

静岡県労働組合評議会総会の成功と今後の組織発展を心から願ってメッセージといたします。ともに頑張りましょう。

静岡県労働組合評議会 様

メッセージ

静岡県労働組合評議会第77回定期大会の開催おめでとうございます。静岡県労働者学習協会より連帯のメッセージを送ります。

岸田政権の下で、問題となってきた裏金問題、経済無策、原発回帰、外交不在の大軍拡、改憲策動など、どれも最悪な自民党ぐるみの悪政です。そして国民の怒りの広がりにより追詰められた結果、岸田首相は総裁選出馬を断念しました。貴組織におかれては、こうした激変を招いた情勢のなか、大幅賃上げ・底上げの実現、雇用をまもり、社会保障の充実、憲法がいかされる社会の構築などに奮闘されてこられました。改めて敬意を表します。

ロシアによるウクライナへの侵略が続き、イスラエルではガザ封鎖と非人道的軍事攻撃が以前出口の見えない状況です。平和憲法を持つ日本では、米軍と自衛隊の指揮系統の統合や、沖縄の島々への自衛隊のミサイル基地の配備が推し進められています。職場、地域から、労働者の要求を実現することと関連づけて、平和を守り、戦争への道を阻止する声をひろげていくことが求められています。特に、核兵器抑止論を振りかざす指導者たちを包囲し、核兵器禁止条約批准を日本政府に迫ることが重要です。3.1ビキニデー集会を開催する静岡県の一層の運動の発展が期待されているところです。

また円安と物価高騰による働く者の生活不安が増大し、圧倒的多数の未組織や非正規労働者は賃上げもままならず、命と暮らしが脅かされています。

私たちは、自公政権の暴走と、それを支える補完勢力に対して、様々な国民的運動の共同の取り組みを強めることが重要です。そのために職場や地域に、お互いを人間として認めあい、自由に議論できる場を組織すること、さらに「学ぶ集団」をつくりあげる。こうして、国民的運動を支えることができる組織の拡大強化を成し遂げることが益々重要となっています。

静岡県労働者学習協会は、全国の学習組織や労働組合・各種団体と協力しながら、労働組合運動や国民的運動の一層の発展のために力を尽くしていきたいと思っております。

本大会の成功を契機に、貴組織と運動がさらに大きく前進することを祈念し、連帯のメッセージといたします。

2024年9月14日
静岡県労働者学習協会
会長 原田政信

第 77 回静岡県労働組合評議会定期大会へのメッセージ

第 77 回静岡県労働組合評議会定期大会が、ご関係の皆様のご尽力により開催されますこと、心からお慶び申し上げます。

貴会のご活躍に心から敬意を表すとともに、日頃より私たち静岡県民主医療機関連合会の活動へのご理解、ご支援に心より感謝を申し上げます。

戦後、医療に恵まれない人々の要求にこたえようと、地域住民と医療従事者が手をたずさえ、民主的な医療機関が各地につくられました。全日本民主医療機関連合会(全日本民医連)は、これらの連合会として 1953 年に結成されました。

以後、70 年以上にわたって地域の人々にささえられ、身近な医療機関として活動しています。また、地域の要求から介護・福祉分野の活動も活発に行っています。

現在、加盟する事業所は全国の 47 都道府県に 1700 力所を超え、約 6 万 2 千人の職員と、医療生活協同組合員や友の会会員約 318 万人の方々が、ともに保健・医療・福祉の総合的な活動、安心して住み続けられるまちづくり運動を進めています。

私たち静岡県民主医療機関連合会(静岡民医連)は 1994 年に結成され、1 つの病院、4 つの診療所、6 つの訪問看護ステーション、5 つの保険調剤薬局、2 つの訪問介護ステーション、その他事業所が加盟し、地域の友の会会員や医療生協組合員の皆様とともに全日本民医連の一翼を担うべく活動しています。

また加盟病院および診療所では「無料低額診療事業」等を実施し、静岡県民全てが「人間らしく生きる権利」を守るために、生活困窮者支援に取り組んでおります。

この日本において国民の格差はますます大きくなり、生活困窮者が増加しています。

加えて昨年より続くあらゆる製品の価格上昇により、貧富の差は開く一方となって庶民のささやかな生活すら奪われています。増えつつある災害もそこに拍車をかけており、まさしく「途上国・日本」への道を辿りつつあります。

県内においても最低賃金はわずかしか上がらないため生活は改善されておらず、さらに危険な浜岡原発をその身に抱えながら、県民は細々と日々を過ごさざるを得ません。

このような状況におかれている静岡県民を守るための貴会による 73 年の活動の重さをひしひしと感じると共に、共に県民の「人間らしく生きる権利」を守るための活動を行っていることに誇りを感じております。

最後に、貴会のこれまでの活動に改めて敬意を表させていただくとともに、より一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

2024 年 9 月 14 日
静岡県民主医療機関連合会
会長 齋藤 友治



第77回静岡県労働組合評議会定期大会 様

大会の盛会をお慶び申し上げます。

国民的最低限の保障はないがしろ、自己責任が押し付けられる政治が続き、大企業の内部留保は増える一方です。労働基準法もなく就業規則も明らかにされないなか命さえ脅かされているのが多くの労働者の実態です。相談するところもない労働者に手を差し伸べる皆さまの運動に敬意を表します。生活保護裁判をはじめ私どもの運動へのご支援に感謝申し上げます。

生活と健康を守る会は、多くの団体、個人の支援に支えられ全国各地で「いのちのとりで」裁判を闘っています。全国29か所で生活保護利用者が人間の尊厳をかけて国に声を上げています。生活保護基準引き下げから10年目を迎えた裁判闘争、皆さんの支援に支えられ全国で17の地方裁判所で勝利、静岡でも昨年5月30日勝訴を勝ち取ることができました。現在、東京高裁でたたかわれています。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

労働者の権利獲得、平和と民主主義、貧困からの解放のため手を携えて闘いましょう。

2024年9月14日

静岡県生活と健康を守る会連合会
会長 水谷 陽一



祝

第77回

静岡県労働組合評議会定期大会

議長 菊池 仁 様

貴評議会のご盛会を心よりお祝い申し上げます。

自民党政権の腐敗墮落は、目を覆うばかりであり、勤労者の生活はますます厳しくなるばかりです。政治腐敗を正すには、強固な立憲野党が必要であり、立憲野党を活気づける労働運動の更なる高揚が必要です。

組織された労働者は、今こそ勤労者・市民を代表する運動を展開すべきであり、社会的正義を求める労働運動に大いなる期待を表明します。

社会民主党静岡県連合は、非正規労働者の先頭に立って労働運動の発展と平和な社会の実現に向けて「がんこに平和！生活が第一」をスローガンに闘いぬく決意です。

貴評議会の益々のご発展を祈念しお祝いのメッセージといたします。

2024年9月14日

社会民主党 静岡県連合
代表 佐藤成男

